

桐生繊維産業の実態

平成3年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生市繊維業界の概要

平成3年12月末現在

1	調査対象団体	21団体（桐生商工会議所繊維部会除く）	
2	産地収入（1）生産高	439億 5997万円	101%
	（2）加工収入高	224億 5811万円	93%
	（3）販売高	244億 5932万円	97%
	計	908億 7740万円	98%
3	組合員数（事業所）	1146事業所	
4	総従業員数（家族従業員含む）	7211人	
5	一時事業所当り従業員数	6.3人	
6	一時事業所当り生産販売加工高	7930万円	
7	年度別産地収入高		
	昭和54年産地収入	1078億 1116万円（前年対比（%））	
	" 55年	1170億 6380万円（前年対比（%）109）	
	" 56年	1110億 8757万円（前年対比（%）103）	
	" 57年	1083億 3093万円（前年対比（%）101）	
	" 58年	1023億 634万円（前年対比（%）95）	
	" 59年	976億 1960万円（前年対比（%）91）	
	" 60年	917億 1760万円（前年対比（%）85）	
	" 61年	853億 4182万円（前年対比（%）79）	
	" 62年	804億 5848万円（前年対比（%）75）	
	" 63年	783億 8548万円（前年対比（%）73）	
	平成元年	841億 7076万円（前年対比（%）78）	
	" 2年	931億 1687万円（前年対比（%）86）	

1. 組合員数及び従業員数

所属団体		組合員数 事業所	従業員数					従業員 平均年齢
			従業員		家族従業員		計	
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	442	265	282	418	606	1571	51
	内地協議会	199	542	867	67	82	1558	51
桐生織物商業組合		9	29	22	0	1	52	40
桐生織物産地元売組合		17	44	19	4	9	76	44
両毛輸出織物整染工業組合		26	465	220	40	25	750	51
桐生染色協同組合		37	209	36	16	21	282	47
桐生繊維製品協同組合		65	160	695	23	32	910	30
桐生糸商組合		19	44	25	20	15	104	41
東日本編レース工業組合		26	54	60	29	20	163	45
桐生撚糸工業組合		41	6	40	43	46	135	58
桐生婦人子供服製造協同組合		8	28	103	13	10	154	40
両毛スカーフ組合		10	6	8	10	8	32	
桐生織物整経協同組合		63	5	21	74	67	167	57
桐生意匠協同組合		37	11	5	5	11	32	43
桐生紋紙協同組合		24	16	2	31	22	71	
東毛ジャガード刺繍協同組合		12	27	34	14	21	96	33
桐生刺繍商工業協同組合		69	225	388	132	143	888	42
桐生金銀糸協同組合		13	33	10	0	7	50	46
桐生織物買継商友会		20	9	3	22	21	55	36
群馬県スフ織物工業組合		107	178	228	29	47	482	45
シルク・ルネッサンス桐生		9	0	0	8	1	9	53
桐生テキスタイル商業グループ		9	30	35	0	0	65	38
計		1146	2208	2875	961	1167	7211	

注(1) 桐生織物(協)の組合員数の数字は、群馬県綿スフ織物(工)の107事業所を含む

(2) (協)シルクルネッサンス桐生、桐生織伝統工芸士会は他と重複しているので計算に含ま

2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

所属団体		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計(万 円)	前年対比 (%)	取引先区分(%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	1,350,577		1,350,577	100	0	100
	内地協議会	821,619		821,619	98	2	98
両毛輸出織物整染色工業組合			542,975	542,975	96	40	60
桐生染色協同組合			185,733	185,733	102	58	42
桐生繊維製品協同組合		109,770	669,000	778,770	102	10	90
東日本編レース工業組合		616,589		616,589	98	52	48
桐生撚糸工業組合			33,320	33,320	92	90	10
桐生婦人子供服製造協同組合		92,090	75,429	167,519	102	0	100
桐生織物整経協同組合			31,270	31,270	95	90	10
桐生意匠協同組合		33,175		33,175	97	67	33
桐生紋紙協同組合		38,900		38,900	93	93	7
東毛ジャガード刺繍協同組合		87,250		87,250	103	3	97
桐生刺繍商工業協同組合		556,920	708,084	1,265,004	90	5	95
両毛輸出スカーフ組合		24,000		24,000	50	0	100
群馬県綿スフ織物工業組合		265,197		265,197	99	0	100
桐生テキスタイル商業グルー プ		400,000		400,000	114	100	0
計		4,396,087	2,245,811	6,641,898	98	38	62

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

所属団体	販売高(万円)	前年対比 (%)	取引先区分(%)		
			桐生市内	県内	県外
桐生織物産地元売組合	432,314	94	0	0	100
桐生織物商業組合	358,158	102	8	0	92
桐生系商組合	1,229,500		67	3	30
桐生金銀系協同組合	180,000	100	80	10	10
桐生織物買継商友会	245,960	87	0	0	100
計	2,445,932		31	3	66

4. 内需向、輸出向区分

所属団体	内需向		輸出向		計 県内
	金額(万円)	割合(%)	金額(万円)	割合(%)	
桐生織物協同組合広幅協議会	1,053,255	78	297,322	22	1,350,577
桐生織物商業組合	210,814	59	147,344	41	358,158
両毛輸出織物整染色工業組合	421,400	78	121,575	22	542,975
桐生染色協同組合	137,971	74	47,762	26	185,733
桐生繊維製品協同組合	769,400	99	9,370	1	778,770
桐生刺繍商工業協同組合	1,263,004	99	2,000	1	1,265,004
桐生金銀系協同組合	180,000	100	0	0	180,000
両毛輸出スカーフ組合	1,680	7	22,320	93	24,000
桐生織物整経協同組合	25,016	80	6,254	20	31,270
桐生意匠協同組合	30,175	91	3,000	9	33,175
桐生紋紙協同組合	34,400	88	4,500	12	38,900
群馬県綿スフ織物工業組合	264,124	99	983	1	265,107
計	4,391,239	87	662,430	13	5,053,669

5. 各団体の取扱品目

所属団体	品目		品目		
	割合		割合		
桐生織物協同組合 広幅協議会	合繊維物	人絹織物	絹織物	アセテート織物	その他
	54	27	11	3	5
桐生織物協同組合 内地協議会	帯地	服地	服飾工芸	着尺	
	75	10	8	7	
桐生織物商業組合	服地	マフラー・レーヨン等	その他		
	72	18	10		
桐生織物産地元売組合	帯地	着尺	二次製品	服飾工芸	その他
	67	14	10	3	6
両毛輸出織物整染色工業組合	ニット	合織	人絹	絹	
	47	39	13	1	
桐生染色協同組合	合織	ベンベルグ等	綿・ウール等	絹	
	48	31	11	10	
桐生繊維製品協同組合	ブラウス	ニットシャツ	ワンピース	コート	その他
	75	10	5	3	7
桐生系商組合	化合織	レーヨン	綿・スフ	絹	
	55	27	10	8	

5. 各団体の取扱品目

所属団体	品目				
	割合				
東日本編レース工業組合	カーテン・レース	衣料	資材		
	72	19	9		
桐生燃系工業組合	合繊燃系	人絹燃系	絹燃系	金銀系	
	55	33	10	2	
桐生婦人子供服製造協同組合	婦人ブラウス	スカート			
	99	1			
両毛輸出スカーフ組合	スカーフ				
	100				
桐生織物整経協同組合	整経				
	100				
桐生意匠協同組合	帯	インテリア	金襴	洋反	その他
	22	21	20	16	21
桐生紋紙協同組合	紋紙	エンドレスペーパー			
	54	46			
東毛ジャガード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワンポイント刺繍	袋物・小物	その他
	45	20	14	8	13
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼関係	婚礼加工	ブラウスニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
	36	14	26	13	11
桐生金銀系協同組合	金銀系	関連製品			
	90	10			
桐生織物買継商友会	帯	二次製品	着尺	広幅・服地	
	63	32	1	4	
群馬県綿スフ織物工業組合	衛生材料	婦人服地等			
	84	16			
桐生テキスタイル商業グループ	婦人服地	インテリア資材	その他		
	70	20	20		

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量	
桐生織物(協) (内地織物)	広幅織機	140	東毛ジャガード刺繍(協)	ジャカードマシン	65	
	並幅織機	1,258		計	65	
	小幅織機	244	桐生撚糸工業組合	イタリー式撚糸機	133	
	自動・レピア織機	191		合織式撚糸機	62	
	計	1,833		アップワインダー	8	
桐生織物(協) (広幅協議会)	超自動織機スルーザー	66		長谷式	3	
	超自動織機レピア	719		計	206	
	自動及び普通織機	2,248		本縫マシン	149	
	計	3,033		ロックマシン	21	
両毛輸出織物整染色工業組合	精錬漂白機	85	桐生婦人服子供服製造協同組合	特殊マシン	51	
	乾燥機	121		その他	1	
	染色機	154		計	222	
	仕上機	70	桐生織物整経(協)	整経機	74	
	計	430		ワインダー	4,455	
桐生染色(協)	常噴射式染色機	134		計	4,529	
	高圧噴射式染色機	44		桐生意匠(協)	拡大機	34
	汎用染色機	46	コピー機		19	
	チーズ及びケーキ染色機	71	コンピュータ		22	
	計	295	パンチング		10	
桐生繊維製品(協)	縫製マシン	1,170	桐生紋紙(協)	計	85	
	プレス	70		ピアノマシン	65	
	裁断機	70		裁断機	29	
計	1,310	編成機		41		
東日本編レース(工)	ラッセル機	192			ワンパンチ	30
	計	192	その他		69	
			桐生刺繍商工業(協)	計	234	
					横振りマシン	1,450
					ジャカードマシン	2,570
			群馬県綿スフ(工)	計	4,020	
					広幅普通織機	496
					小幅普通織機	262
					超自動レピア	49
					ガラス繊維織物	0
			計	807		

7. 最近の推移

品目 団体名		受注・引き合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比（％）	増	変わらず	下降	前年対比（％）
桐生織物協同組合	広幅協議会				100				100
	内地協議会				100				100
桐生織物商業組合					100				100
桐生織物産地元売組合					100				94
両毛輸出織物整染色工業組合					100				100
桐生染色協同組合					100				100
桐生繊維製品協同組合					100				100
桐生糸商組合					100				90
東日本編レース工業組合					95				100
桐生撚糸工業組合					100				100
桐生婦人子供服製造協同組合					90				90
両毛輸出スカーフ組合					60				70
桐生織物整経協同組合					95				100
桐生意匠協同組合					100				100
桐生紋紙協同組合					95				95
東毛ジャガード刺繍協同組合					100				100
桐生刺繍商工業協同組合					90				90
桐生金銀糸協同組合					90				90
桐生織物買継商友会					100				105
群馬県綿スフ工業組合					100				100
桐生テキスタイル商業グループ					115				105
計		1	13	7	97	2	12	7	97

桐生織物協同組合（広幅協議会）

商品消費者ニーズの変化について

輸出向け織物については、相変わらず厳しい環境が続いており、今後の為替の安定を希望する。内需婦人服地は今後も期待できると思う。インテリア・資材関係等については厳しい中でも前年同期の実績は確保できると思う。

状況、事業概要

輸出向け織物については前年比でほぼ横ばいであった。これは、アメリカ輸出が予想外実績が延びなかった結果と思われる。全地区では数量で2%、金額で1%の減少となった。

国内向け広巾織物は前年対比で数量で18%減少したが、金額では1%増加した。

そのうち、インテリア・婦人服地はほぼ横ばいで、ネクタイ生地・金襴は増加した。

広巾内需織物の合計では、数量は18%減少したが、金額では1%増加となった。

実施した主な事業としては、海外見本市事業、国内見本市事業、研究会・視察状況、事業、桐生服地織物品質向上協議会の運営等が挙げられる。

本協議会として新しく公布・施行された「労働力確保法」の認定組合となり活動に入った。

協議委員会、青年部会も研究会・視察事業を行った。

今後の課題

輸出向け織物は、今後も厳しい状況は変わらないと推測されるが、為替レートの安定と仕向地の景況により上昇することを望んでいる。

内需向け織物については、分業関連企業の連携をより強化して産地活性化を図りたい。長い間続いた織機登録制度の逐次全廃は産地活動の基本に関するところであり、桐生市繊維振興協会の産地診断や組合の中小企業人材確保法の活用又は国・県・市の活性化対策を経営に生かして、変化から調整への対応を産地を挙げて取組むべきと思う。

桐生織物協同組合

商品消費者ニーズの変化について

きもの人口は増えていないが、人気は根強い。着尺は当産地では、織にしぼりなどの加工を加えたものが中心で、カジュアル向きのものである。

帯は、夏のゆかたが引き続き好調であったため、4寸5分巾のひとえ帯を中心として好調で、ふくろ帯は正絹佐賀錦が好まれている。

状況、事業概要

和装織物の平成3年1月～12月における組合生産統計をみると、過去2年連続して増勢であった業界もここへきて前年並みと横ばいになった。

不振をかこっていた着尺が微増ではあるが、失地を多少回復したこと。主流である帯地においては、ゆかた帯が依然として堅調であった反面、帯地の代表的商製品である袋帯がいま一つ伸びなかった点が挙げられる。

服飾工芸品も減少したが、新製品開発の意欲があるので回復を目指す。

主な事業としては、新販路開拓事業・移動販売会事業・指導座談会・市場調査事業・和装振興特別事業（全日本きもの女王選出大会など）、伝統工芸士桐生織振興事業等を実施した。

今後の課題

業界全体が大きな転換期にきているといえよう。

品種・業種・業態の見直しと産地体質自身を再構築して、需要の変化に対応する産地基盤を確立することが急務であると思われる。

桐生織物商業協同組合

状況、事業概要

輸出織物は初期の湾岸戦争の影響とアメリカ向けの減少に依り総じて引き続き苦戦を強いられたが、ラメ織物の流行に助けられ何かと前年並程度で推移した。

国内向き婦人服地は近来にないフォローの風が吹きスペース不足が続く等、他産地の不況を横目に見つつ健闘した。

今後の課題

労働力不足そして織機工の老齢化、撚糸設備不足、染色工場（糸染・布染共に）における各種問題点等産地としてかかえる構造的弱点は、繊維関係業者は勿論、官民一体となり解決に努力せぬ限り、到底超えることは不可能と思われる。

特に機屋と買継（織協と商協）の協調体制の構築等、現状打開すべく努力しない限りギリ貧は避けられないだろう。

桐生織物産地元売協同組合

商品消費者ニーズの変化について

当組合の主な取扱品である、和装製品は成人式用袋帯・七五三祝帯・一般帯地・着尺・和装小物等が主体でフォーマル製品に対しては依然として高級品志向が強いが、最近値頃関係にもきびしさがみられてきた。

状況、事業概要

本年度、当組合の取扱高はバブル経済崩壊の影響もあって前年度比95%弱の取扱に終わった。

今後の課題

当産地の特徴を活かし多品種・短サイクル化等に対応でき得る。生産・販売・計画を行うよう努力する。また最近、友禅の館という大手催事販売業者の倒産により今後の催事販売方法にも変化がみられるのではないかと思う。

桐生染色協同組合

商品消費者ニーズの変化について

消費者の個性化・高級品志向は依然として強く、したがって使用繊維の種類が多様化、複合繊維なども多くこれに伴い高度の染色技術が要求されている。

状況、事業概要

平成3年中、国外的には湾岸戦争の終結、ソ連邦の解体、米国の財政及び貿易収支の大幅赤字、東欧諸国の政治経済秩序の変化等、また国内的にはバブル経済の崩壊等が言われたが加工数量・加工金額はほとんど変わらなかった。

しかし、作秋以降加工数量は減少傾向である。この期間中特に目立ったのは、小ロットのものが多くなったことと人手不足の問題であった。

今後の課題

染色加工品の小ロット、短納期化及び消費者の高級品志向の対応

人手不足及び後継者問題

公害対策等

以上これらを解決するためには従来に引き続き機械化・省力化等による技術の向上、職場環境の整備等が肝要である。

また、小ロットに対する加工料金体系の見直し等々課題が山積している。

東日本編レース工業組合

商品消費者ニーズの変化について

レースカーテンは、高級品の引き合いはやや鈍ってきているが、前年に続き窓飾ブーム、スタイルカーテンの普及で服地生地と同じようなものが求められている。衣料関係はショール、マフラー、ストールは近年になく好況で、厚手もの薄手ものに限らず引き合いが多くスペース不足の状態であった。

状況、事業概要

編レース業界は、やや高級品志向が鈍って来たものの、昨年に引きつづき消費者ニーズの多様化に伴って一層多品種、小ロット化が進み生産管理の研究、改良に迫られている。永続的問題になっている従業員不足のため必然的に休日の増加、操業時間の短縮に対応せざるを得ない状況である。

インテリア関係業者にて「ヨーロッパのカーテンレース業界の近況について」カールマイヤー株式会社ハンスレーナー氏を招き講演会を開催し、研修会を実施したが、帰るところ編み機の新設になったが、機械価格の高価、金利高等により実施にふみきれない状況である。

衣料関係は比較的小企業が多いため、従業員不足には直接影響が少なく需要が好況のため、生産が近年になく好況である。

服飾関係の細巾レースは高級化に伴い設備の新設の時代になっている。

今後の課題

人手不足の対応

イ 操業時間、操業日数の短縮

ロ 従業員の福利厚生施設の設置

ハ 企業のイメージアップ

組合の今後のありかた

加工仕上げ工場との提携により、製品仕上の研究

桐生燃糸工業組合

商品消費者ニーズの変化について

燃糸の品質面の管理が厳しくなり、設備の改善を求められる様になり、低工賃が問題になる。

状況、事業概要

人絹、合繊は安定した操業を続けているが、労働力不足から生産は思うように上がらなかった。

絹糸は不調で落ち込みが特に大きい

金銀糸は受注が不安定

今後の課題

設備の改善と加工賃のアップ

桐生婦人子供服製造協同組合

商品消費者ニーズの変化について

消費者ニーズ、好みの変化はますます高級品本物志向が強くなり、自分だけのものを求める人が多くなった。本年は販売力も衰えてきつつある。

状況、事業概要

アパレル企業にとって労働力不足、高齢化の進行、勤務時間の短縮等、生産現場を取り巻く環境の厳しさは例年とかわらないが各企業とも合理化省力化に努力を払っている。

平成3年は（いざなぎ）を超える景気の先行き懸念が強まり個人消費にもかげりがちらつきはじめ、受注量が減少傾向であった。

今後の課題

バブル経済はハジケ、ソ連邦の崩壊等内外共に厳しい年であった。景気の減速が始め自動車販売の低迷、民間設備投資の伸び悩んでいる昨今、いかに存続を図るか、アパレル企業の抱える問題点をひとつひとつ解決していくことが今後の大きな課題であるとする。

桐生織物整経協同組合

状況、事業概要

景気が陰り初め受注加工量も減少気味で小ロットも多く作業者の高齢化のため廃業する業者もいる。

今後の課題

手作業の分野も多く就労時間も長く作業者の高齢化も進み後継者問題等いろいろと考慮している。

桐生意匠協同組合

状況、事業概要

技術者の高齢化かにより減少している現在でも昨年と大差なく個々の努力で売上は横ばいに推移した。産地の仕事の変化とデザインシステムの仕事の移行した分だけ、お互いに変化が出来てきた。

今後の課題

消費者ニーズによる流行の変化が早くなっている時でもあり、商品作りもいち早くその流れをキャッチして新しい商品づくりに取組みたい。

個々の企業では、困難な資料収集をいち早く業界全体で情報収集を行い、お互いのノウハウを出し合っていくことが大切である。

作業的な関連機種がお互いに連絡しあって協調していくことも大切な時に来ていると思う。

桐生刺繍商工業協同組合

商品消費者ニーズの変化について

素材面・技術面での高級化志向が若干みられるものの、値段のこなれているものもみられる。

状況、事業概要

洋装は輸入ブラウス・セーター等に刺繍入りが多く値段的におされ、仕事量も少なくなってきた。

た。

今迄好調であったハンカチ等もここにきて落ち着きを保つ

婚礼衣裳関係は超高級の品物が売れていたが、バブル経済が消えて使いやすい（値段的にも）桐生の商品が流れてきつつある。

今後の課題

零細企業が多いため、情報交換、親睦の場として未加入者への組合加入の増強を積極的に推進していく。

技術者の養成等、技術研修を開催する。

展示会等を積極的に開催する。

青年部（後継者）の活動強化の育成

桐生織物買継商友会

商品消費者ニーズの変化について

ライフスタイルの変化、出生率の低下、レンタルの普及により扱い商品の中で需要が著しく変わってきている。特にフォーマル品の中級ランク以下のものに、この傾向が強く現われてきた。今後、商品の研究開発には、これらの事を踏まえて物づくりに携る必要を感じる。

状況、事業概要

他の業者と異なり平成好景気の恩恵も少なく、よく健闘努力したが微量の成績にとどまった。

上半期は、振袖用正絹袋帯、合織細帯、夏細帯等々ブランドものを含めて順調に推移をみた。

二次製品、インテリア・小物類・雑貨等も同様でこれらの商品群は前年と比較すると多少価格がアップし、高級感のあるものに欲求され移行しつつあった。

上半期は、バブル経済の破綻により老舗の小売店、有力卸商社の倒産、大販小売店の倒産により市場の混乱と消費者の買い控えによって11月期頃から取引が落ち込みになった。

今後の課題

川上業種の原材料や各工程にかかわる熟練高齢者の退職、転廃業が進中で相変わらず後継者不足による製品の製造継続が難しく一部商品に廃番商品が出てきている。

今後、新製品の開発にはこれらの事柄のために支障が出ると思う。

群馬県綿スフ織物工業組合

商品消費者ニーズの変化について

衛生素材（ガーゼ）は、各病院により折り方等がいろいろ要求があり、また大手メーカーの参入も予想されて厳しいが全般の利用は増加している。

輸出関係の減少が大きく合計でマイナスとなった

状況、事業概要

衛生素材（ガーゼ）については、人手不足・大手企業の参入も考えられ、今後ますます厳しい状況となると思われるので、省力化・合理化の設備投資は年々継続せざるを得ない。

設備費・人件費上昇を考えると将来は不織布に移行することも予測される。

綿スフ使いの内需婦人服地は前年対比で横ばいであったが、輸出関係は減少が厳しかった。

今後の課題

衛生資材については今後省力化・合理化に力を入れるとともに多品種・少量で大企業参入に

対処しなくてはならない。

価格の安定を図りながらコスト高要因を抑えて、採算を好転させなくてはならない。

綿の婦人服地については、最近減少傾向にあり今後も需要対応の生産体制の構築が必要と思う。

協同組合シルクルネッサンス群馬

商品消費者ニーズの変化について

当組合は、シルクだけが持つ物理的・化学的人体の健康保持に（皮膚病予防）役立つ衣料の研究開発に取り組んで6年、基礎製品は数種出来たが、これから商品化に踏み出す。スカーフ（ハーブ染手絞り）を商品として地場産センターを中心として発売している。

状況、事業概要

20匁付サテンクレープのハーブ染手搾り、及び14匁デシンクレープの（ハーブ染手絞り）及びポケットチーフを発売し、売上は毎月数万円位、但し12月に群馬県商政課のカatalog販売に県のすすめで出品することになったので、今後を期待している。

また、ひまわりシルクシート（県推奨マーク付）は床ずれ予防に良好。これを県・市等が群馬の土産品として積極的に採用してもらいたい。

また皮膚予防にひまわりシルクショーツ用の生地でクラシックパンツ、パンツ、パジャマ、ジーンズ等肌着に活用、またスポーツ衣料等今後の課題である。

今後の課題

市当局がシルク製品の（新商品）アンテナショップを全国的に調査し、募集して直接ネットワークを作り高い絹を少しでも安く消費者に手に入るよう研究してもらいたい。

両毛輸出織物整染工業組合

商品消費者ニーズの変化について

モノで満杯の消費者は今までになかったものが欲しい「手間・ヒマ」のかかったもの、このような商品構成で消費者対照の企画製品としてゆくことが必要と考えられる。

状況、事業概要

1986年移行景気拡大を続けており、調整局面にはいり、企業の生産活動が徐々に鈍化し設備稼働率の低下が見られる。

一方需要面では個人消費は横ばいながら住宅投資にも陰りが見えており景気の伸びは低下していくと予想される。

この中で、当業界においては昨年1月～9月の加工数量では輸出が8.7%微増したが内需がほど横ばいであった。

また採算的には多品種、小ロット、短納期の定着、加工内容の高度化の進展、或いは物流関連業務の緊迫など問題が山積し、厳しい状況が続いている。

今後の課題

環境問題が単に教養として学ぶ範囲を超え、解決方法を実践する段階を迎えた今、染色整理企業にとって、地球環境と調和させつつ環境への負担をいかに少なくするかイメージ先行だった環境対策から経営戦略に環境というテーマを織り込む動きに変わってきた、消費者の意識の高まり、それはやがて競争力を高める原動力になるという認識も定着してきた。

環境との共生が経営に欠かせない条件になりつつある。